

# 現地レポート／金子 聡子（先導科学研究科 生命体科学専攻）

派遣先：エジンバラ、イギリス

派遣期間：2006年6月27日～2006年9月21日

2006年8月28日報告分

## 授業・研究の進捗状況

渡航前に得ていたヒト集団の多型データを使って集団遺伝学的な解析を行いました。解析するにあたり注目したことは、多型の頻度とその分布・連鎖不平衡の有無・分集団構造などについてです。現在の集団遺伝学的な解析では、ひとつの現象を知るために複数の指標が使われているため、それぞれの原著論文に戻ったり比較検討する論文から自分のデータに適する指標の検討を行いました。

また、TCS や Arlequin などの解析用ソフトウェアの使い方を習得しました。さらに、組換え率の違いを生み出す機構、動植物における性染色体の進化、レトロポゾンがゲノムの進化に及ぼす影響、高度に保存された非コード領域の機能解析などに関する文献を読み、博士論文の序論の準備をしました。

これらの解析とは別に、8月の初めに私の投稿論文を引用した論文が発表され、その論文には私のデータに関する批判的な内容も含まれていたために、これまでの実験の方法および結果について確認を行い、帰国してからの実験計画を立てました。



クローン羊・ドリリーの剥製



ドリリーの説明

## 生活関連状況

8月のエジンバラは音楽などの芸術全般に関するものと映画・ジャズ・本など複数のフェスティバルが同時に開催されています。

芸術性の高いフェスティバルと同時にFringeと呼ばれる試験的なコメディやダンスやミュージカルなどの出し物もあり、街中の教会や大学のホールなど200を超える会場で朝から晩まで毎日1300もの公演が行われています。

フェスティバルの期間中は、普段45万人のエジンバラの人口が倍になるそうです。エジンバラ大学の文系キャンパスは

街の中心部にあるため、フェスティバルの会場になったりもしていますが、理工系のキャンパスは、街の中心から少し離れたところに位置しているため静かです。



エジンバラの街並み



Edinburgh Military Tattoo

### その他報告すべき事項

8月10日にロンドンのヒースロー空港でテロ未遂事件がありました。エジンバラではホルロード宮殿など王室関係の施設への入場の際は液体持込禁止になっていますが、それ以外は特に影響は無いようです。

### 2006年7月27日報告分

(授業の登録の有無/無。有の場合： 単位) サマースクールに参加。

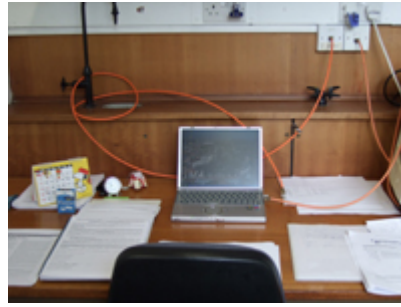
### 授業・研究の進捗状況

研究室のミーティングでこれまでに行ってきた研究についての話をし、知りたいと思う現象を検証するための解析の仕方についてアドバイスをもらいました。

サマースクールでは、集団遺伝学を基礎とする進化研究の基本的な概念の説明から最近の研究の成果について、主に英国の第一線で研究を行っている人たちの講義を受けました。また、分子進化や集団遺伝の解析のためのソフトウェアの実習を受けました。さらに、参加した学生やポスドクはそれぞれ口頭発表もしくはポスター発表を行い、講義内容やポスターなどの発表内容についての議論や情報交換を行いました。



Ashworth Lab. の玄関



研究室の机

### 生活関連状況

エジンバラは、街の規模がそれほど大きくないために大抵のところには徒歩で行くことができます。ほとんど全ての住宅には前庭があり、街中でもところどころに公園があって緑に恵まれた環境です。

また、大学でも街でもヨーロッパ中のいろいろな国から来ている人の集まりで、みんなそれぞれに母国語なまりの英語を話しているためか、相手の言おうとしていることを汲み取ろうとしてくれる傾向が強く、とても助かります。



The Meadows (19時)



The Meadows (19時)

### その他報告すべき事項

入国審査の際に、滞在先でのはっきりした身分が無いいため観光ということにしたら、3ヶ月は長すぎると怪しまれました。

そこで、帰国する意思があって、英国で働く必要の無いことを示すために、帰りの航空券と英文の預貯金残高証明書と所属長からの受入れ許可の手紙と、受け入れ教官からのメールの打ち出しを提示して、日本で博士課程の学生であり、エジンバラ大学で無給で研究をすると伝えるとようやくゲートを通ることができました。

後でこちらに来ている人に聞いた話では、女性で1人で長期滞在する場合は、そのまま居続けてしまうことが多いようで、特に嫌われる傾向にあるそうです。